

スポーツ少年団への新規登録は

教育長 条件を満たせば拒めない



加藤 紀之 議員



スポーツがより身近な存在となるために

【加藤】町内で活動する団体から、スポーツ少年団に新規加入したいのに認めてもらえない、という相談を受けた。

既に登録する単位団がある競技では、新たな単位団の登録は認めないということのようだが、現実には複数の単位団が登録する競技もあり、不公平感を感じる。

今後、どのように対応していくのか。

【教育長】これまで、一つの競技に一つの単位団が望ましいという方針だった。その考え方は変わらないが、新たな単位団を立ち上げたいという意思を持ち、日本スポーツ少年団や鳥取県スポーツ少年団が定める登録条件を満たすのであれば、町スポーツ少年団としての登録は拒めないと考える。

スポーツ少年団への登録は、町スポーツ少年団の事業であるので、役員会で意見を聞きながら対応していく。

介護予防と健康寿命を延ばす取り組みは

町長 地域での取り組み強化を目指す



吉原美智恵 議員



いつまでもお元気で

【吉原】今年4月に見直された介護保険料は、県内平均6433円となり、本町では6946円で、県内3番目の高額となった。

これまで以上に、効果ある介護予防事業と、健康寿命を延ばす取り組みが必要では。

【町長】介護予防・生活支援サービス事業に取り組んでいるが、多くの人の参加を促すためには、地域での取り組みが重要と考える。

シルバー交付金事業や、自主組織での取り組みに期待している。

【吉原】介護保険の予防事業に「通いの場づくり」が今、求められている。

全国の研究事例では、参加者の認知症になるリスクが低いとか、虚弱者になる率を抑える効果が認められている。

歩いていける範囲での「通いの場づくり」を官民協働で進めては。

【町長】シルバー交付金の支え愛事業の結果で改善をする。